

強制配転反対！
非正規職撤廃！

労働委員会闘争ニュース

第 3 号

2016. 9. 22

小平労働委員会闘争を共にたたかう会

TEL 0442421055
連絡先 西田貴広（保土ヶ谷） 佐藤正則（横浜泉） 星野健司（戸塚）
横浜市南区山王町 4・26・3 ストックビル秋山 301

労働委員会で

郵政資本とJP労組の真実を暴きます

小平 大介

8月31日の労働委員会にて第2回目の調査が行われました。今回も確認のための調査ということもあり25分程で終わりました。会社側回答の横着さには呆れます。会社側は私が支部執行委員であった事は認めています。異動が支部外であることも認めています。JP労組横浜西支部から反対の表明がなかったことも認めています。

なぜ横浜西支部の支部長と書記長は反対の表明をしなかったのか。それは不当労働行為を容認したからです。そのうえ、私と付き合うなと組合員に言いまわり、「公安につけられるぞ」などとデマを流しています。協力をせず労働者を守らない。自分の保身を第一に考え、会社と一体となっている事が明確となりました。

今のJP労組では、自分の身は自分たちで守らなくてはなりません。何のための労働組合なのか考えてみる必要があります。

次回の神奈川県労働委員会は、10月14日午前10時開会です。これから労働委員会を経て真実が暴かれます。

傍聴は誰でも可能なので、郵政資本がどれほど労働組合・労働者の敵なのかを知る良い機会です。結集して下さい。

強制配転・不当労働行為を許さない！
「補佐人」募集！

全国で郵政会社にたいする 労働委員会闘争が開始されています

大阪地労委闘争のビラより抜粋

8月30日、大阪府労働委員会に対し、「スキル評価制度は労働者の団結を破壊する不当労働行為だ。郵政会社はスキル評価制度の廃止、10月1日実施予定の無期転換制度を中止すべき」との申立を行いました。すべての郵政労働者の怒りの先頭に立って労働委員会闘争を開始したのは、富田林郵便局の平沼さんと吹田郵便局の村山さんの二人のJP労組組合員です。

スキル制度（スキル評価、基礎評価）によって一方的に賃金が決められる。組合員が組合員を一次評価する。評価によって退職強要や雇止め解雇が強行される。こんなことが許されるのか。多くの非正規労働者の怒りの元凶であるスキル評価制度そのものに対してついに反撃が始まったのです。評価制度は正規労働者にも導入され、賃金へのリンクだけでなく、早期退職勧奨の際、「お前はD評価だ」と解雇の道具に使われているのです。労働を会社が評価するなど絶対に認めてはならないことです。

労働委員会とは

労働委員会は、労働者の団結権の擁護及び労働関係の公正な調整を図るため、労働組合法に基づいて国及び都道府県に設置された専門的な行政機関です。

労働委員会 第3回調査

10月14日（金曜日） 午前10時

かながわ労働プラザ 7階

